

ふくしま オーガニック通信

～オーガニック・ランドふくしまをつくろう～

No. 元-2 令和元年11月11日

福島県農業総合センター

有機農業推進室

福島県郡山市日和田町高倉

字下中道 116 番地

TEL 024(958)1711

FAX 024(958)1730



農業総合センターまつりで「親子一緒にトマト収穫体験！」を開催しました

農業総合センター有機農業推進室

有機農業推進室では、消費者へ有機農業や有機農産物についての理解を深めていただくため、今年も農業総合センターまつりのイベント「有機農業を知って得する。親子一緒にトマト収穫体験！」として、ミニ勉強会と収穫体験を実施しました。9月6日（金）、7日（土）の2日間合わせて4回開催し、58名（大人33名、子供25名）の参加がありました。今年で3回目となり、参加者からは「昨年参加して子供も喜んで、勉強になったので、職場の仲間を連れて来ました。楽しみにしていました。」といったうれしい声もありました。

青空のもと有機JASマークや認証制度について学んだ後、有機農業推進室が栽培管理しているほ場でトマトなどの野菜収穫を行いました。

草が生い茂るほ場で、ショウリョウバッタやクモ、カエルなど多種多様な生き物が数多く元気に動いているのを目の当たりにし、子供たちは袋いっぱい野菜を詰め込んで大はしゃぎでした。

引き続き、有機農業・有機農産物が広く生活の身近なものになるよう活動していきます。



写真左：収穫体験終了後に記念写真

右上：収穫体験前の座学、右下：収穫体験の様子

有機農業に関する理解促進講座を開催しました

農業総合センター有機農業推進室

福島県では、有機農業に関する理解促進講座として、桜の聖母短期大学と連携し、生活科学科食品栄養専攻の1年生を対象とした講義及び生産地見学を実施しました。

10月17日(木)は、有機農業推進室より有機JAS認証制度等について講義をした後、(株)いちい商品部遠藤氏及びフォーズ・マーケット店長霞氏より有機農産物の流通等について講義いただき、有機野菜を使用した惣菜の試食も行いました。学生からは、「有機農産物が安全・安心な農産物であること、有機JAS認証取得に至るまでには厳しい審査がなされていることが分かった。」等の感想が聞かれました。

10月26日(土)の生産地見学では、二本松市のオーガニックふくしま安達代表関氏の有機栽培ほ場を見学しながら、ほ場の管理状況や有機農業に対する考えについて説明いただいた後、葉物野菜の収穫体験を実施しました。ほ場見学後には、ふくしま農家の夢ワイン(株)のワイナリーで、有機野菜を使用した料理を試食したり、(株)デイリーサービス代表引地氏より、オーガニックふくしま安達の生産する有機農産物を取り扱うようになった経緯等についてお話いただいた。

また、桜の聖母短期大学では、(株)いちいと連携して有機野菜を使用したお弁当を企画し、来年の春には販売される予定ですので、見かけた際には是非ご賞味ください。今後も本講座を通じ、学生に対して本県の有機農業・有機農産物に関する理解を深めてまいります。



霞店長による講義



葉物野菜収穫体験の様子

「オーガニック農産物！親子収穫体験 in 会津」を開催しました

会津農林事務所農業振興普及部

会津農林事務所と会津オーガニック匠の会等は、8月17日(土)に会津若松市近郊の有機農産物ほ場および「道の駅あいづ湯川・会津坂下」において、県内の親子8組20名と会津地域の有機農業者との交流会を開催しました。

ミニトマトとエダマメの収穫体験では、「ミニトマトやエダマメがとても新鮮で美味しく、たくさん収穫しました!」、「自分で収穫するのは初めてだったので、楽しかった!」といった声を聞くことができました。

道の駅での交流会では、有機農産物たっぷりのカレーライスやサラダをみんなで味わい、また有機農産物の抽選会を通して交流を深めました。参加した親子は、「会津の有機農産物を応援します!」、「会津が大好きです!」等のエールをいただきました。

今後も、このような取組等により有機農産物の販売拡大、生産振興を支援していきます。



交流会の様子



参加者の記念写真

「親子で遊ぶ・学ぶオーガニック（有機栽培）じゃがいも掘り取り体験会」を開催しました
相双農林事務所双葉農業普及所

子育て世代を対象に有機農業への理解を深めていただくため、「親子で遊ぶ・学ぶオーガニック（有機栽培）じゃがいも掘り取り体験会」を7月25日（木）に開催しました。

いわき市の学校法人明照学園九品寺こども園及び九品寺附属平窪幼稚園に通う園児と保護者、合わせて60名の方々に参加していただきました。

九品寺こども園で保護者の方々を対象に有機農業や有機 JAS マークに関する座学を開催した後、いわき市平下大越の「いわき夏井ふぁーむ」小林さんの有機じゃがいもほ場で収穫体験と試食を行いました。

親子で楽しくじゃがいもを収穫したり、普段はじゃがいもをあまり食べないお子さんも喜んで食べたりしていました。

保護者からは、「子供が楽しいだけの企画ではなく、親の私達も学ぶことができ、満足の半日でした。また、有機じゃがいもの美味しさを実感することができました。」などの感想が寄せられ、有機農産物に対する理解が深まるとともに、親子で楽しい時間を過ごしていただけたと思います。

今後も、有機農産物の生産と消費の拡大に向けて活動してまいります。



じゃがいも収穫体験の様子



参加者の記念写真

水稲有機栽培の推進のため、乗用型水田除草機による水田除草見学会を開催しました 会津農林事務所農業振興普及部

会津農林事務所は、農業総合センター等と連携して6月3日（月）に磐梯町、7月4日（木）に喜多方市塩川町の有機栽培に取り組む水田において、乗用型水田除草機による水田除草の見学会を開催しました。

多くの農業者に参加していただき、参加者からは「除草機の性能は？」、「作業時期はいつ頃から？」、「作業頻度（回数）は？」、「作業時の水深はどの程度？」などの質問があり、また多くの参加者が熱心にメモを取っていました。

農業者からは、「乗用型水田除草機を導入して、有機栽培米の収量を向上させたい。」、「除草・抑草を省力的に行いたい。」などの感想を聞くことができました。

今後このような取組により、会津地域の水稲有機栽培を振興してまいります。



除草の様子（運転は栽培者）

令和元年度福島県有機栽培米生産者訪問見学会を開催しました

農業総合センター有機農業推進室

有機栽培米の販売促進を図るため、首都圏等の米穀小売店を対象に、福島県有機栽培米生産者訪問見学会を開催しました。今年で3年目になります。

見学会は、9月15日（日）と10月6日（日）の2日間に、浜通り（Aコース）、中通り（Cコース）、会津（B・Dコース）の4コースを設け、米穀小売店が希望のコースに参加する「コース選択型」とし、首都圏から27名（米穀小売店14社）の参加がありました。

見学会では、生産者の水稲有機ほ場や乾燥調製施設を見学し、米穀小売店との意見交換を通じて親交を深めました。

〈参加者からの声〉

- ・〔米穀小売店〕新潟米は一等米比率がかなり低いようですが、福島県の有機栽培米はどうですか。高温対策としてどのような取り組みをしていますか。
- ・〔米穀小売店〕有機栽培米は、玄米食の方へ勧めています。
- ・〔米穀小売店〕千葉県流山市は、ベッドタウンとして子育て世代が急激に増加しており、農薬を使用していない米の需要があります。先代の社長とつながりのあった有機農家が高齢になり取引ができなくなってしまいました。後継者がいる生産者と永くお付き合いをしていきたい。
- ・〔生産者〕我が家は、有機栽培米生産を始めて、25年になります。私で二代目です。孫から「じいじの米はどうして甘いのが、最大の褒め言葉、喜びでした。今後も未来の子供たちのため、有機栽培を続けていきたい。

Aコース 9/15 広野	Aコース 9/15 南相馬	Bコース 9/15 会津若松
新妻有機農園	渡部有機農園	長尾農園
		
Bコース 9/15 会津若松	Cコース 10/6 福島	Cコース 10/6 郡山
すとう農産	やまろく米出荷協議会	石澤農園
		
Dコース 10/6 会津若松	Dコース 10/6 西会津	
あいづ有機農法生産組合	橋谷田ファーム	
		

「オーガニックふくしまマルシェ」を開催しました

環境保全農業課

令和元年9月18日(水)にビッグパレットふくしま(郡山市)にて、オーガニックふくしまマルシェを県内で初めて開催し、平日にも関わらず約600名の来場がありました。

商談会、セミナー、パネルディスカッション、マルシェ、みそ玉づくり体験、調理実演及び試食会、企画展示など多岐にわたるイベントで、主婦や子供連れのお客さんも多く見られ、大盛況となりました。

セミナーでは、日本オーガニック検査員協会・元理事長の水野葉子氏から「日本の有機JAS認証の理解と重要性」について講演いただきました。

商談会では11事業者、マルシェでは14事業者の出展がありました。来場者からは、このようなイベントに参加して、有機農産物を知るきっかけになり、また購入してみたいとの感想がきかれました。

県としても、生産・流通拡大の取組を支援するとともに、より一層の有機農産物の理解促進・消費拡大を図ってまいります。



マルシェ（農産物等販売）の様子



出展事業者のみなさん

【商談会出展事業者】 会津の伝統野菜と薬草 リオリコ農園、オーガニックふくしま安達、(株)新妻有機農園、チャルジョウ農場、社会福祉法人こころん（こころんファーム）、秀明自然農法 石川町生産者組合、天栄米栽培研究会、浜の野菜（株）、秀ちゃん楽農園、(有)旬彩ファーム、(有)すとう農産

【マルシェ出展事業者】 café nanala、NPO 法人会津自然塾、会津春泥、会津の伝統野菜と薬草 リオリコ農園、(株)新妻有機農園、お菓子の蔵 太郎庵、社会福祉法人こころん（こころんファーム）、秀明自然農法 石川町生産者組合、道の駅 羽鳥湖高原、天然酵母 to 国産小麦のぱん Home Made Endoh、秀ちゃん楽農園、ファミリーファーム、(有)すとう農産、WATAYA. LLC（わ田や合同会社）

《お知らせ》 令和元年度環境にやさしい農業拡大推進事業について

環境保全農業課

県では、有機 J A S 認証取得を支援する事業について、下記のとおり申請を受け付けておりますので、ご活用ください。

○有機 J A S 認証拡大推進事業（申請受付 12月13日（金）まで）

- ・有機 J A S 認証の新規及び継続の認証取得を希望する方に、新規認証費用の 3 / 4 以内、認証継続費用の 1 / 2 以内で補助します。

詳細については、下記の農林事務所等へお問い合わせください。

○問い合わせ先

県北農林事務所	: 024 - 521 - 2603	県中農林事務所	: 024 - 935 - 1301
県南農林事務所	: 0248 - 23 - 1561	会津農林事務所	: 0242 - 29 - 5301
南会津農林事務所	: 0241 - 62 - 5644	相双農林事務所	: 0244 - 26 - 1146
いわき農林事務所	: 0246 - 24 - 6154		
農業総合センター有機農業推進室	: 024 - 958 - 1711		
農林水産部環境保全農業課	: 024 - 521 - 7453		